

「吉舎の子は変わってき ましたね」～心をつに 「自学力」育成をめざして



平成28年度「きさ」小中一貫教育推進協議会会長
三次市立吉舎中学校長 小丸 幸則

さあ、三次市小中一貫教育「モデル地域」
指定2年目が始まりました。

児童生徒の「主体的な学び」すなわち我々
がめざす「自学力」育成に向け、各校とも
ベクトルを揃え、日々実践を積み重ねてお
られることと存じます。

今年度は、昨年度の反省を元に、「より計
画的に日々の実践を小中で交流し研修成果
を繋ぐ」ことをテーマに、事務局を中心と
した組織改正を行い、日常的に授業参観を
中心とした実践交流の推進に取り組みます。

今一度、①課題解決型の授業づくり②ノ
ート指導③家庭学習習慣定着④生活3か条
(挨拶・返事・履物揃え)の徹底を各校で
再確認し、短いスパンでCAPDを繰り返
し、次の発達期(前期・中期・後期)に責
任を持って確実に送る教育を進めましょう。

そして、今年度、吉舎町に集まった全て
の小中職員41名で「自学・礼節・一生懸
命」な吉舎の子供の育成に向け、心をつに
し、是非とも、今年度末に「吉舎の子は
変わって来ましたね」とみんな喜び合う
「きさ」の教育を創造しましょう。

6.17 先進校視察に向けて

今年度、第1回目の全員研修会は、香川
大学教育学部附属坂出中学校の教育研究会
に参加することになりました。(小学校の先
生方は、午前中は坂出小学校の授業参観を
した後、午後から中学校へ移動となります。)

「児童生徒を『主体的な学び』に向かわ
せるための学習者基点の深い学び、いわゆ
る、課題発見解決学習とはどのような学習
なのか」先生方がこれまでの研修や実践で
イメージされている授業像は、それぞれ違
いがあると思います。

昨年度の研修でも「自学力を身に付けた
児童生徒像」について論議しましたが、「自
学力」＝「生徒自ら主体的に知識・技能を
習得・活用し、自ら能動的に、調べ、考え、
様々な課題を解決していく能力」と捉えた
として、その能力を育成するための授業は
どのようなものなのか、自身の授業との違
いは何なのかをまずは、確かにイメージし
て実践しなければなりません。

「指導者がずっと話をしている考えさせ
る時間が少ない授業」「児童生徒に課題解決
への見通しも持たせないまま、ただ『考え
なさい』と丸投げする授業」「答えを発表さ
せるだけ、または指導者が答えを言って終
わるような授業」「グループ協議をさせた
だけで、児童生徒の思考が働いていない(働
かせる技術を指導していない)のにアクテ
ィブラーニングをさせていると勘違いして
いる授業」はないでしょうか。

近日中
に、事務局
を通じて、
「視察の
視点」が示
される予
定ですが、
まずは、事
前に授業



を観る視点を各自しっかり持って視察研修
を行い、授業のトップイメージを共有して
行きましょう。